

大学入試研究ジャーナル第23号(143-150頁)掲載論文の訂正
 解答形式とパフォーマンスに関する実証的研究

安野 史子(国立教育政策研究所), 浪川幸彦(椋山女学園大学),
 森田康夫(東北大学), 三宅正武(名古屋大学), 西辻正副(文部科学省),
 倉元直樹(東北大学), 林篤裕(九州大学), 木村拓也(長崎大学),
 宮埜寿夫, 椎名久美子, 荒井克弘(大学入試センター), 村上隆(中京大学)

テスト3(国語)の集計結果を掲載する際, 表7においては, 準正答の得点を正答と同等に扱った得点, 表8(テスト2の得点との相関)及び図1においては, 準正答の得点を正答の50%として扱った得点によるものを掲載していた。また, 一部の問題において, 準正答の得点が正しく反映されていない集計結果を載せていた。

テスト3(国語)については, 形式によって小問数が同一ではなく, 配点においても部分点が与えられたりして, 正しい比較がしにくい構造になっている。テスト1(数学)においては, 準正答には得点を与えず, 各問題同一配点で形式比較を行っているため, テスト3(国語)においても, なるべくそれに近い方法で比較を行うこととした。

その結果, テスト3(国語)に関する図表を下記のように訂正いたします。なお, 本文については訂正がありません。

P147

表7 テスト3結果: 基本統計量 (50点満点)

	国語A	国語B	国語C
平均	31.1	26.4	29.2
標準偏差	6.0	8.0	8.2
最高点	45	45	48
最低点	8	5	5
人数	206	209	211

P147

表8 テスト2結果: 基本統計量 (100点満点)

センター試験 数学①	全体	母集団別					
		数学			国語		
		A	B	C	A	B	C
平均	54.9	56.6	52.6	55.4	55.5	54.0	55.1
標準偏差	27.7	27.3	28.5	27.1	26.7	29.3	27.0
最高点	100	100	100	100	100	100	100
最低点	0	3	0	2	2	0	5
人数	626	213	208	205	206	209	211
相関係数	-	0.89	0.92	0.89	0.30	0.47	0.52

P148

(※3形式の比較は設問五～九)

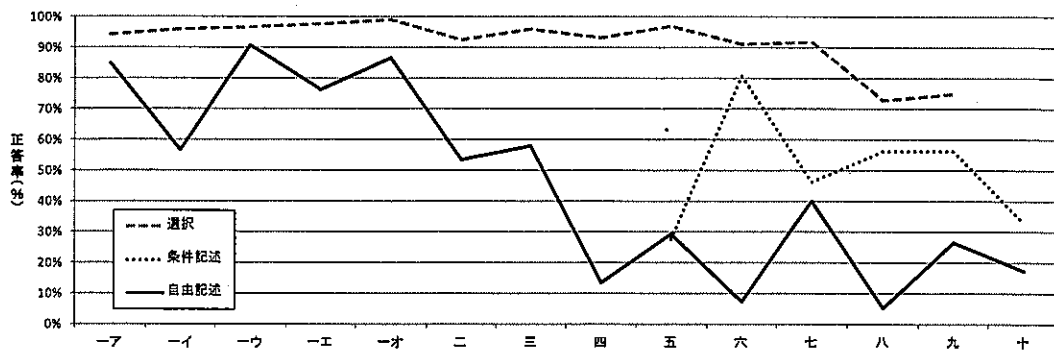


図1 テスト3(国語) 解答形式別正答率